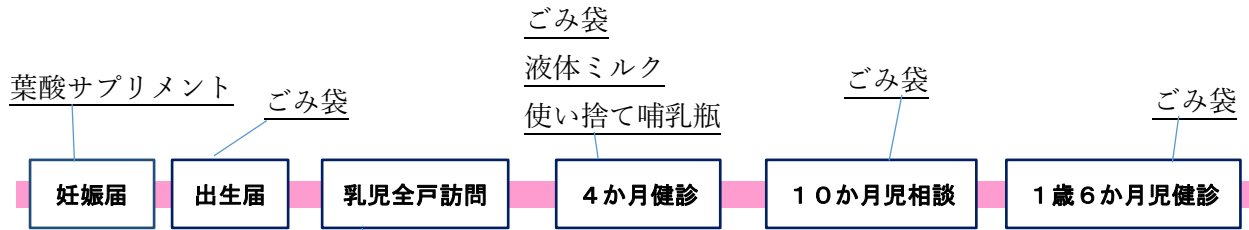


地方創生推進プロジェクトについて

プロジェクト1		
地域とともに出産や成長を喜ぶ仕組みや産前産後のサポートの充実		
第2期創生総合戦略	施策	施策1-1「結婚・出産・子育ての希望が叶うまちをつくる」
	指 標 (KPI)	① 市の子育て支援・環境に満足している子育て世代の割合 (H30) 49.0% → (R6) 59.0%
		② ミルネの子育て世代包括支援センター事業利用件数 (H30) 490件 → (R6) 550件
手段	妊娠の希望を叶える支援や産前産後のサポートを充実させるとともに、地域を挙げて、新しい命の誕生をお祝いしていることを子育て世代が実感できる取組を増やす。	
Plan (計画) 令和2年度	<p>妊娠・出産・子育てを地域から応援されていると実感でき、この地域で子育てしたいと感じてもらおう取組について、母親・赤ちゃんとの関りが深い健康福祉部健康課を中心とした地方創生推進プロジェクトとして、庁内検討委員会を設置し、検討を行いました。</p> <p>検討過程では、創生総合戦略推進本部会議にて全庁的に協議したほか、創生総合戦略推進委員会で外部有識者の視点からご意見をいただきました。また、市民アンケートを実施し、子育て世代を中心とした市民の声を反映しました。</p>	
Do (実施) 令和3年度	<p>ハッピーバース応援ギフト事業 12,414千円</p> <p>妊娠・出産・子育てを応援されていると実感でき、この地域で子育てしたいと感じてもらおう取組として、妊娠期から2歳ごろまでに利用していただけるものを贈ります。</p> <p>特に出産時のギフトは、「丹波市に生まれてくれてありがとう」の思いを込め、「丹波で生まれてよかった」と思っただけできるよう、できるだけ市内産品を活用し、市内事業所の活性化と、地域をあげて子育て応援する機運の醸成を図ります。</p> <p>妊娠確定前診察費への助成 4,000千円</p> <p>従来の妊婦健康診査費の対象にならない妊娠確定に至る診察費を助成することにより、すべての妊娠期における経済的な支援を実現し、子育てに優しいまち丹波市を推進します。</p> <p>市内唯一の分娩取扱い機関である県立丹波医療センター初診時の選定療養費分をこの助成事業で補い、受診しやすい環境を整えます。</p>	

	<p>産前産後サポートの充実 1,533 千円</p> <p>妊産婦が抱える悩みや不安、心身の不調に対し、専門職による相談・支援を行い、不安の軽減・解消を図ります。</p>
--	---



- ちーたんバッグ お祝いメッセージ
- 赤飯レトルト 木のおもちゃカタログ
- 赤ちゃん番茶
- にんじんジュース
- フェイシャルパック



ハッピーバースパック イメージ

プロジェクト2		
子育て世代のニーズに適う公園の整備に向けた公園整備方針の策定		
第2期創生総合戦略	施策	施策1-2「みんなで子育てを応援するまちをつくる」
	指標 (KPI)	① 地域全体で子育てを支えていると感じている市民の割合 (H30) 46.7% → (R6) 53.0%
		② ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じている市民の割合 (H30) 43.7% → (R6) 63.0%
手段	子どもにとって、本市で暮らす豊かさ（自然体験・遊び、心地の良い場）が実感できる場（まちのサードプレイス）を充実させる。	
Plan（計画） 令和2年度	<p>人口減少に対する子育て支援・地域活性化策として、また、観光・交流の賑わい拠点づくりとして、市内公園の充実を図るため、地方創生推進プロジェクトとして、それぞれの公園の特色を活かした整備について検討を行いました。</p> <p>策定過程では、創生総合戦略推進本部・関係課長会議で内部協議を進めたほか、創生総合戦略推進委員会で外部有識者の視点から協議いただきました。市民アンケート、市議会総務文教常任委員会・議員総会など、各方面から意見をいただき、策定しました。</p>	
Do（実施） 令和3年度	<p><u>氷上さくら公園</u>（展望台の改修工事 5,000千円）</p> <p><u>道の駅丹波おばあちゃんの里</u>（遊具の設置 27,827千円）</p> <p><u>山南中央公園</u>（基本計画の策定 10,000千円）</p> <p><u>三ツ塚児童公園</u>（遊具修繕工事 1,814千円）</p>	

プロジェクト3		
仕事と子育ての両立を応援する取組の検討（病児保育のあり方）		
第2期創生総合戦略	施策	施策2-2「多様な働き方・働きやすい職場をつくる」
	指標 (KPI)	① 病児保育のサービス拠点数 (H30) 5 拠点 → (R6) 14 拠点 ② 年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると感じている市民の割合 (H30) 21.2% → (R6) 25.0%
	手段	子育て世代が働きやすい環境をつくるため、認定こども園全園の病児保育実施と、小児科診療と連携した病児保育拠点の整備を実現する。
Plan (計画) 令和2年度	<p>ひとり親家庭、核家族が増えていくなか、仕事と子育ての両立を支援するため、病児の受入れ体制を整備します。</p> <p>現在、市内の認定こども園 13 園中、病児保育(体調不良時型)は 11 園が実施していますが、インフルエンザ等に罹患した病児を受け入れる体制は整っておりません。</p> <p>検討経過では、他市の状況調査を行ったほか、8月には子育て世代を中心としたアンケートを実施しました。</p>	
Do (実施) 令和3年度	<p>病児保育室の開所 (12,280 千円)</p> <p>対 象：乳幼児から小学6年生までの子ども</p> <p>内 容：疾病にかかり集団生活が困難と判断された子どもを一時的に預かる病児保育室を開所する。</p> <p>開始予定：未定</p> <p>定 員：6名(予定)</p> <p>職員配置：看護師1名、保育士2名</p>	

※開設に向けて法人と協議を進めておりましたが、折り合いがつかず、開始時期は未定となっております。引き続き開所に向けて、協議を進めます。

プロジェクト4		
子育て世代が働きやすい環境整備の検討		
第2期創生総合戦略	施策	施策2-2「多様な働き方・働きやすい職場をつくる」
	指標 (KPI)	① 病児保育のサービス拠点数 (H30) 5 拠点 → (R6) 14 拠点 ② 年齢や性別を問わず、働きやすい環境が整っていると感じている市民の割合 (H30) 21.2% → (R6) 35.0%
	手段 (※)	<u>子育て世代が安心して子どもを産み育ててられると実感できるよう、市内企業に働きかけ、子育てしやすい就労環境づくりを進める。</u>
Plan (計画) 令和3年度	<p>令和2年度プロジェクト「病児保育のあり方検討」の協議の中で、推進委員会等から「病気の時には本当は子どものそばに居たい、本当は無理して保育園に預けたいとは思っていないことを理解してほしい」という意見がありました。</p> <p>子育て世代が出産や子育てを行う中で、事業所の人手不足などにより、産前・産後に休暇を取得しにくかったり、子どもの学校行事や急な病気の時などに休みにくかったりすることがあります。また、休暇を取りやすいようパート勤務など低賃金な職種を選ぶことにより、不安定な就労・生活環境になることから、第2子、3子の出産が難しいといった現状があります。</p> <p>そこで、市内企業に働きかけることにより、子育てしやすい就労環境づくりに取組みます。</p> <p>具体的な取組</p> <p>① 中小企業支援ハンドブックに子育てに特化したページを追加する又は新たなリーフレットをつくる</p> <p>② 企業ガイドブックに「子育てしやすい企業」として表示する</p>	

※事業化するタイミングで第2期丹（まごころ）の里創生総合戦略に追加する。

プロジェクト5		
ふるさと移住の促進に向けた移住施策の再構築		
第2期創生総合戦略	施策	施策3-1「人と人のつながりをつくる」
	指標 (KPI)	① 相談窓口を利用して移住した年間世帯数 (H30) 29世帯 → (R6) 30世帯
		② ふるさと住民の累計登録者数 (H30) 393人 → (R6) 1,000人
	手段1	住まい・仕事・コミュニティ・交流など移住に必要な情報がまとまった窓口や、お試し移住やお試しテレワークなどのニーズと、民泊などのコミュニティ型宿泊支援とのマッチングを図る仕組みづくりなど、移住支援の充実を図る。
手段2	子育て世代の移住や新婚世帯の定住など、ライフステージの移住・定住支障事例を集め、それに対応した子育て世代移住支援パッケージをつくる。	
Plan (計画) 令和3年度	<p>丹波市の人口減少対策にとって、10代後半から20代前半にかけての大きな人口移動がポイントであり、この年代のライフステージのニーズをきめ細やかに捉えたいうえで、分野横断的に施策展開する必要性が高まっています。</p> <p>「子どもたちに帰ってこいよと言えるまちづくり」に向け、関係課長等で構成するふるさと移住促進施策検討会を設置し、住まい・仕事・地域活性・観光・教育などの分野を横断的に捉えた移住促進施策について検討を進めます。検討に当たっては、人口移動意識調査を実施し、その属性や移動時の状況を明らかにし、移住促進施策に役立てます。</p>	

スケジュール

- 5/20 (木) 第1回ふるさと移住促進施策検討会
- 5月下旬～ 人口移動意識調査の実施
- 6/17 (木) 総務文教常任委員会報告
- 7/1 (木) 創生推進本部会議
- 7/15 (木) 第2回ふるさと移住促進施策検討会
 - ・人口移動意識調査の簡易集計
 - ・戦略的事業ヒアリングに向けた施策体系の整理
 ※以降、順次検討会を開催し、方針(案)を策定。
- 7/26 (月) 創生総合戦略推進委員会
- 2月初旬 創生推進本部会議
- 2月下旬 創生総合戦略推進委員会
- 2月下旬 ふるさと移住促進方針の策定
- 3月中旬 総務文教常任委員会報告